



Vol. 1
読みつがれてきた本



紙ひこうき

児童書リスト



一宮市立子ども文化広場図書館

2011年4月

【初級】おはなしを読みはじめたみなさんへ



きいろいばけつ

もりやまみやこ／作・つちだよしはる／絵
あかね書房

きつねのこが、きいろいばけつを見つけました。いったいだれのばけつなのでしょう？「自分のものになったらいいのになあ。」きいろいばけつによせるきつねのこの思いが、やさしく、あたたかく伝わってきます。



ぼくは王さま

寺村輝夫／作・和田誠／絵
理論社

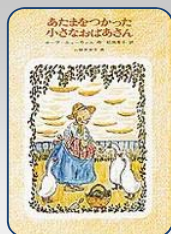
わがままな王さまは、たまごやきが大好き。国中でいちばん大きなたまごやきを作るために、ぞうのたまごをさがしてくるように家来に命令します。さて、ぞうのたまごはみつかるのでしょうか？



ジェインのもうふ

アーサー・ミラー／作・アル・パーカー／絵・厨川圭子／訳
偕成社

ジェインという女の子が、赤ちゃんの時から持っているピンクの毛布、ジェインが大きくなるにつれて小さくボロになります。どうしたらジェインは、毛布とおわかれできるのでしょうか？



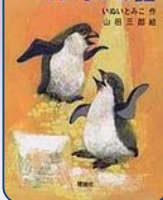
あたまをつかった小さなおばあさん

ホープ・ニューウェル／作・山脇百合子／画・松岡享子／訳
福音館書店

こまったことがおきると、ぬれたタオルを頭にしばってイスにすわり、ひとさしゆびをはなのよこにあてて、目をつぶる小さなおばあさん。じっくり考えてすばらしい方法をおもいつきます。さあ、あなたもこまった時は、じっくり考えて…。

【中級】少し長いおはなしにチャレンジしたいみなさんへ

ながいながい
ペンギンの話



ながいながいペンギンの話

いぬいとみこ／作・山田三郎／絵
理論社

なんきょくの島で生まれたペンギンのルルとキキはとってもくいしんぼう。いつもおなかをすかせています。ある日、両親の帰りを待ちきれず、ルルはひとりで外へ出かけました。そこに、おそろしいトウゾクカモメがやってきます。



ルドルフとイッパイアッテナ

斉藤洋／作・杉浦範茂／絵
講談社

黒ねこのルドルフ。エリちゃんに飼われていたけれど、ひょんなことから、はなればなれになってしまいます。新しい町で、イッパイアッテナと出会い、力強く生きていきますが、さて家に帰ることができるのでしょうか？



大どろぼうホッツェンブロッツ

オトフリート・プロイスラー／作・中村浩三／訳
偕成社

ホッツェンブロッツは大どろぼう。もじゃもじゃの黒ひげで、ピストルとこしには7本の短刀。この大どろぼうが、ガスパールのおばあさんのコーヒーひきをぬすみます。ガスパールと友だちのゼッペルは、大どろぼうを知恵をしばってついせきます。

長くつ下のピッピ



長くつ下のピッピ

アストリッド・リンドグレン／著・桜井誠／絵・大塚勇三／訳
岩波書店

ピッピは、9才の、「世界一強い女の子」。「ごたごた荘」でサルや馬と気ままな一人暮らしをしています。朝から晩まで楽しいことを思いつき、すぐに行います。ピッピは、今も昔も子どもたちの人気者なのです。

【上級】深く考えて読んでみたいみなさんへ



銀河鉄道の夜

宮沢賢治／作・春日部たすく／画
岩波書店

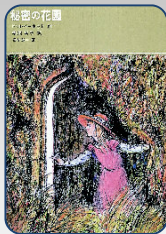
銀河ステーションから夜の軽便鉄道に乗ったジョバンニとカムパネラ。みんなの本当の幸せは何か？を考えながら、さまざまな場所へふしぎな旅をする少年たちの物語。



ガラスのうさぎ

高木敏子／作・武部本一郎／画
金の星社

わたしたちは、今、平和な毎日をおくっています。今からおよそ60年前、日本は戦争をしていました。これは12歳の敏子が、父と母と2人の妹を亡くした戦争体験を描いた本です。戦争の恐ろしさ、むなしさ、無残さを伝える一冊です。



秘密の花園

フランシス・ホジソン・バーネット／作・堀内誠一／画・猪熊葉子／訳
福音館書店

10歳のときに孤児となってしまったメアリは、イギリスのおじさんの屋敷に引きとられました。そこには、だれもはいることの許されない秘密の庭園がありました。ある時、広い屋敷のどこからか、子どもの泣き声が聞こえてきたのです。

「紙ひこうき」を手にとってください方へ

みなさんのお父さん、お母さんが小さい子どもだった頃からある本を集めてみました。

どんな本を読んだらいいか迷っている時、参考にしてください。
大好きな一冊に出会えますように…。

